



議会だより

なよろ



令和3年1月1日発行

増刊号

名寄市議会に関する市民アンケート調査結果



議会運営委員会で、アンケート調査結果について検証

も
く
じ

- ◎ 新年のごあいさつ・市民アンケートご協力のお礼…………… 2
- ◎ 調査の概要・調査結果（問1～問10）…………… 3～11
- ◎ 調査結果（自由記述の概要）・調査のまとめ……………12

新年のごあいさつ・市民アンケートご協力のお礼

名寄市議会議長 東 千 春



新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、名寄市でも市内経済や医療現場に大きな影響を与え、行政ではさまざまな支援策を実施してきましたが、引き続き議会としましても影響を最小限にとどめるように、協議を続けていく所存です。

コロナ禍で、国は在宅勤務や教育などのインターネット環境の整備を進める中で、名寄市としても農村部までの光回線の整備やGIGAスクール構想に対する整備を行います。また医療と介護・福祉のデータの共有する「名寄市地域包括ケアICTネットワーク」事業は、医療と介護がワンチームで支える仕組みや複数医療機関での情報共有で一貫したサポート体制を整備するための取り組みとして進められています。製紙工場の跡地利用から、データセンター誘致への取り組みや新しい働き方としてのリモートワークなど、社会構造の変化を的確にとらえ、将来に向けて地域の特性を生かした、インターネットを活用した施策の展開が求められます。

また昨年、2000人を無作為抽出して行った「名寄市議会に関する市民アンケート」では、800人、40%の皆さまから回答をいただき、心から感謝いたします。その結果の概要については、この増刊号でお知らせするとともに、いただいた回答は、議員定数や報酬などにかかる今後の協議の参考とさせていただきます。今回は、それぞれの設問での記述欄への記入はもとより、自由記述欄で230件のご意見をいただきました。いただいたご意見を分類分けして各委員会の場で、改善すべきものや具体的に取る組めるものなどの協議を進めます。

コロナ禍で人と人との接触を避けるため、各種行事などが自粛され、私たち議員もこれまでになく活動が制限される中で、いただいたご意見は貴重であり、今後もさまざまな方法で皆さまからご意見を伺うことで、市政に反映するとともに、より身近に感じていただけるよう努めてまいります。

新型コロナウイルスが早期に終息することを願い、今年一年が皆さまにとって健康で、実り多い年となりますことをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

迎春

市政クラブ

山田典幸
塩田昌彦
黒井徹
東川孝義
今村芳彦
遠藤隆男
五十嵐千絵
清水一夫
清浦勝秀
三浦千春
東

市民ネット

高野美枝子
佐藤靖
佐久間誠
倉澤宏
山崎真由美
富岡達彦
高明
高橋伸典
日本共産党
川村幸栄



◇調査の概要◇

1 調査の目的

現在、名寄市議会では「議会運営委員会」において、議会改革に取り組んでいます。

今回の調査は、より広く市民の皆さんから名寄市議会に対するお考えや要望などをお伺いし、今後の具体的な議会改革の参考にすることを目的に実施しました。

2 調査地域

名寄市全域

3 調査対象

住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上（令和 2 年 9 月 1 日現在）の市民 2,000 人

※ 18 歳以上の人口における年代ごとの人口比率に応じて 2,000 人を無作為抽出

4 調査方法

市民 2,000 人への郵送

5 回答方法

同封の返信封筒による郵送またはパソコン・タブレット・スマートフォンでのオンライン

6 調査期間

令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 10 月 20 日

7 回収率

40.0%（800 人）

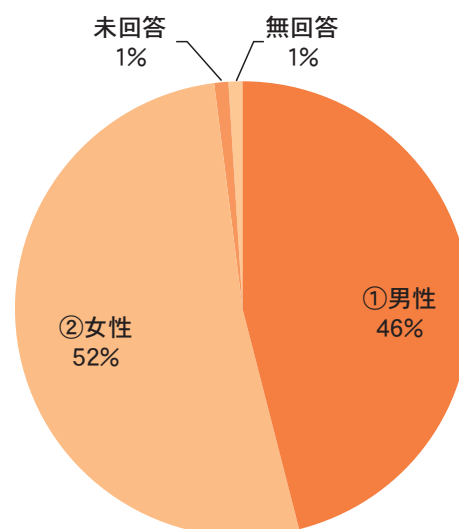
※郵送：713 人 オンライン：87 人

18 歳以上の人口における年代ごとの人口比率、送付数など

年齢構成区分	人数	割合	送付数	回答数	回答率
18・19 歳	591	2.53%	51	18	35.57%
20 歳代	2,630	11.27%	225	50	22.18%
30 歳代	2,933	12.57%	251	71	28.24%
40 歳代	3,441	14.75%	295	93	31.53%
50 歳代	3,280	14.06%	281	125	44.45%
60 歳代	3,531	15.13%	303	152	50.23%
70 歳代	3,778	16.19%	324	186	57.44%
80 歳代以上	3,152	13.51%	270	103	38.12%
無回答				2	
合 計	23,336		2,000	800	40.00%

問1 あなたの性別は

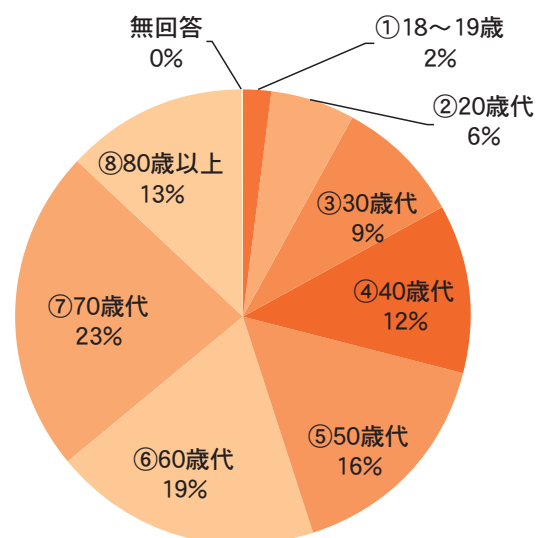
	回答数	割合
①男性	369	46.13%
②女性	417	52.13%
③未回答	8	1.00%
無回答	6	0.75%
総計	800	100.00%



男女別の回答率は男性 46.13% (369 人)、女性 52.13% (417 人) と男女比は概ね均等に回答をいただきました。

問2 あなたの年齢は

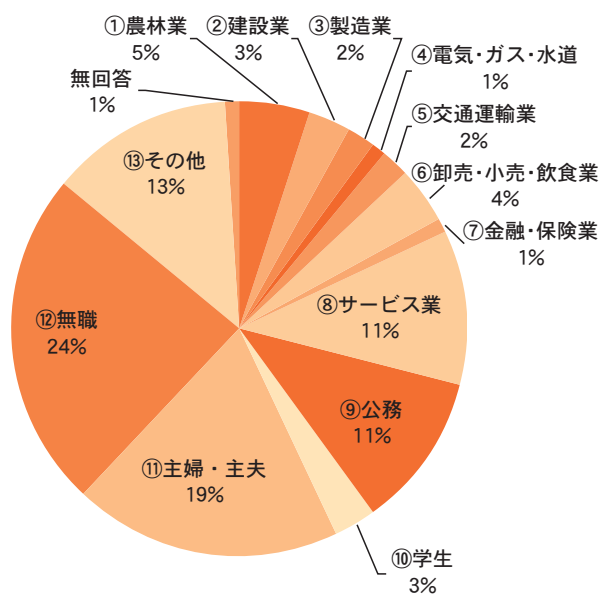
	回答数	割合
① 18～19歳	18	2.25%
② 20歳代	50	6.25%
③ 30歳代	71	8.88%
④ 40歳代	93	11.63%
⑤ 50歳代	125	15.63%
⑥ 60歳代	152	19.00%
⑦ 70歳代	186	23.25%
⑧ 80歳以上	103	12.88%
無回答	2	0.25%
総計	800	100.00%



年代別の回答では、70歳代が 23.25%、60歳代が 19.00%と高く、50歳代以上の回答で全体の7割以上 (70.76%) を占めました。

問3 あなたの職業は

	回答数	割合
①農林業	38	4.75%
②建設業	25	3.13%
③製造業	15	1.88%
④電気・ガス・水道	9	1.13%
⑤交通運輸業	14	1.75%
⑥卸売・小売・飲食業	36	4.50%
⑦金融・保険業	9	1.13%
⑧サービス業	88	11.00%
⑨公務	85	10.63%
⑩学生	25	3.13%
⑪主婦・主夫	156	19.50%
⑫無職	194	24.25%
⑬その他	101	12.63%
無回答	5	0.63%
総計	800	100.00%



学生をはじめ選択項目すべての層から回答をいただきました。特に「主婦・主夫」や「無職」の方の回答が多く、全体の43.75%でした。

また、「サービス業」と「公務」の方を合わせると2割以上（21.63%）となり、他の職種と比べて多くなっています。



市民福祉常任委員会では、高齢化社会における健康寿命の延伸について調査研究しています。【町内会連合会役員との意見交換会】

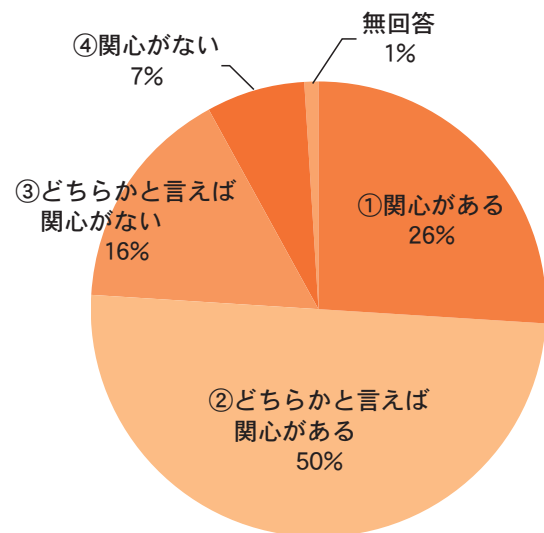


総務文教常任委員会では、公共交通について調査研究しています。【コミュニティバス東西まわりに乗車】

問4

市議会では、予算に係ること、条例に係ること、市長や議員から提案される政策や市民生活の諸問題を審議し、市政の重要な事柄を決めます。あなたは、こうした名寄市の様々な意思決定に係る審議について関心がありますか。

	回答数	割合
①関心がある	210	26.25%
②どちらかと言えば関心がある	399	49.88%
③どちらかと言えば関心がない	129	16.13%
④関心がない	53	6.63%
無回答	9	1.13%
総計	800	100.00%



「どちらかと言えば関心がある」と答えた方が49.88%で最も多く、次に「関心がある」と答えた方が26.25%となり、合わせると全体の76.13%でした。

また、20歳代以下の世代でも、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせた回答が半数を超えています。

◎「③どちらかと言えば関心がない」、「④関心がない」と答えた方はその理由を教えてください。

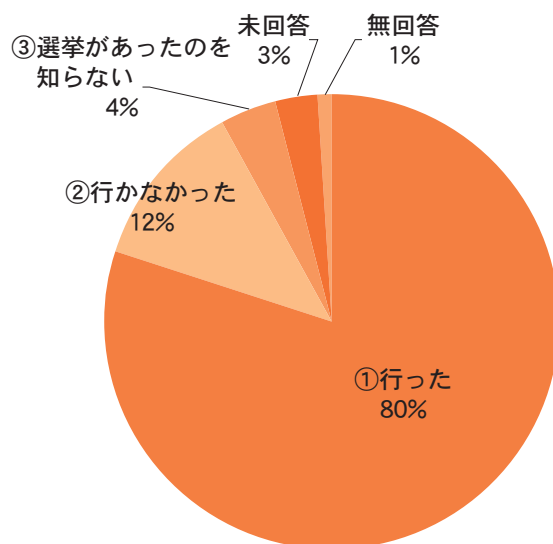
主な意見

- ◇自分の意見が反映されていると思わない。
- ◇市政にあまり関心がない。
- ◇議会審議に関する情報が入ってこない。
- ◇議員が何をしているかわからない。
- ◇審議したところで、結果は最初から決まっているような気がする。
- ◇市民のための政治が行われている実感がない。
- ◇自分の生活のことだけで、精一杯だから。

問5

あなたは、平成31年4月に行われた市議会議員選挙において投票に行きましたか。

	回答数	割合
①行った	644	80.50%
②行かなかった	97	12.13%
③選挙があったのを知らない	29	3.63%
④未回答	23	2.88%
無回答	7	0.88%
総計	800	100.00%



「行った」と回答した方は80.50%でした。問4の回答と連動しますが、平成31年4月に行われた選挙の投票率は64.1%であったことから、今回アンケート調査にご協力いただいた多くの方が市政や議会に対する関心度も高いという結果でした。



昨年1月には、大学教育の現状と課題について理解を深めました。【議員会新年研修会】

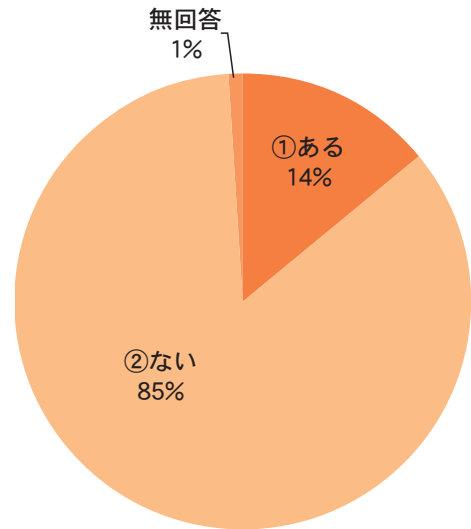


経済建設常任委員会では、産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて調査研究しています。【名寄商工会議所との意見交換会】

問6

あなたは、市議会議員や市議会に意見や要望などを伝えたことはありますか。

	回答数	割合
①ある	108	13.50%
②ない	682	85.25%
無回答	10	1.25%
総計	800	100.00%



市議会議員や市議会に意見や要望を伝えたことがない方が85.25%と、ほとんどの方が伝えていないという結果でした。

◎「①ある」と答えた方は、差し支えなければ、どのようなことを伝えたのか教えてください。

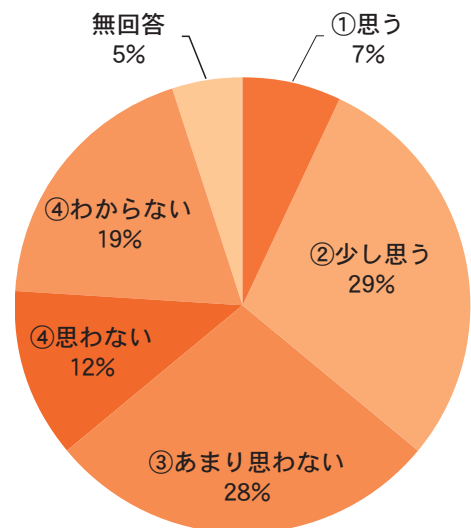
主な意見

- ◇まちづくり、商店街の活性化策など。
- ◇少子化が進む中、子育て支援の取り組みや強化のお願い。
- ◇不祥事の未然防止、監査の強化。
- ◇医療、介護、福祉の施策について。
- ◇道路の整備、除排雪、排水の件。
- ◇市立病院の設備改修、開業医確保対策。

問7

あなたは、市民の声を市議会は反映していると思いますか。

	回答数	割合
①思う	55	6.88%
②少し思う	231	28.88%
③あまり思わない	225	28.13%
④思わない	93	11.63%
⑤わからない	154	19.25%
無回答	42	5.25%
総計	800	100.00%

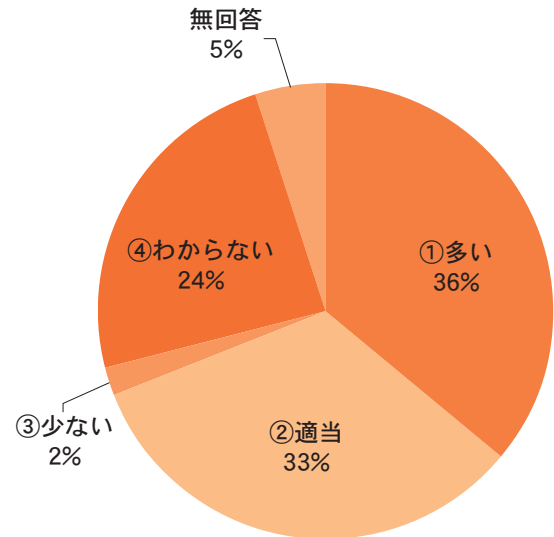


市民の声が反映されていると思われていない方は39.76%で、思われている方の35.76%を上回ったことから、結果を重く受け止めなければなりません。

問 8

名寄市議会議員の定数は 18 名です。あなたはこの定数をどのように考えますか。

	回答数	割合
①多い	289	36.13%
②適当	266	33.25%
③少ない	13	1.63%
④わからない	196	24.50%
無回答	36	4.50%
総計	800	100.00%



「多い」と答えた方が 36.13% (289 人) で最も多く、次に「適当」と答えた方が 33.25% (266 人)、という結果でした。

また、「わからない」との回答も 24.50% (196 人) ありました。

回答に対する理由では、「多い」を挙げている方が 149 件と最も多く、人口減少や議員の活動を理由に挙げている方が多くなっています。

◎その理由は

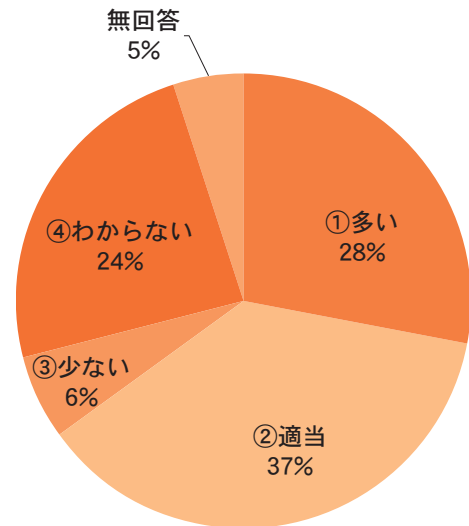
主な意見

- ◇人口減少しているから。
- ◇他の市より割合的に見て多い。
- ◇議員 1 人当たりの人口数を 1,500 人ぐらいと考えれば適当と思う。
- ◇参考資料を見たら妥当ではないか。
- ◇他の市町村に比べ、多いか少ないかわからない。
- ◇立候補者が減少している傾向にあり、無投票は避けたい。

問9

名寄市議会議員の報酬は月額31万円です。あなたはこの議員報酬額をどのように考えますか。

	回答数	割合
①多い	226	28.25%
②適当	293	36.63%
③少ない	47	5.88%
④わからない	193	24.13%
無回答	41	5.13%
総計	800	100.00%



「適当」という方が36.63%である一方、「多い」という方も28.25%という結果でした。また、こちらも「わからない」との回答が24.13%（193人）ありました。

◎その理由は

主な意見

- ◇市の財政も大変だろうからもう少し減らしてもいい。
- ◇議員の活動を考慮すると多すぎる。
- ◇他市と比較しても適当。少ないとなり手がいなくなる。
- ◇市議としての活動に値する適切な報酬が必要である。
- ◇専門性、責任感を持たせるために。
- ◇議員のなり手に偏りが生じるので、もう少し上げてもいい。
- ◇議員の活動がよく見えない。



昨年10月には、地域医療連携推進法人と地域包括ケアネットワークについて理解を深めました。【議員研修会】

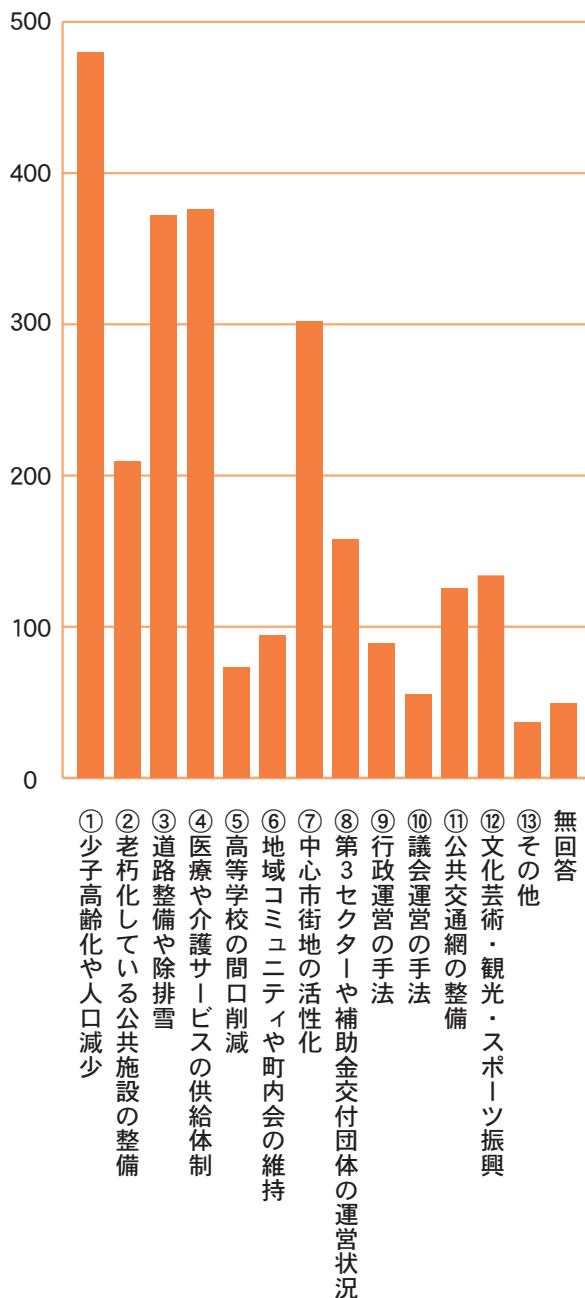


昨年7月には市内4会場で、市民の皆さんと市政全般にわたって意見交換を行いました。【市民との意見交換会】

問10

あなたは、現在の名寄市において何が重要な課題と考えますか。【複数回答可】

	回答数
①少子高齢化や人口減少	480
②老朽化している公共施設の整備	209
③道路整備や除排雪	372
④医療や介護サービスの供給体制	376
⑤高等学校の間口削減	73
⑥地域コミュニティや町内会の維持	94
⑦中心市街地の活性化	302
⑧第3セクターや補助金交付団体の運営状況	158
⑨行政運営の手法	89
⑩議会運営の手法	55
⑪公共交通網の整備	125
⑫文化芸術・観光・スポーツ振興	134
⑬その他	37
無回答	49
総計	2,553



「少子高齢化や人口減少」が480件と最も多く、次に市民生活に結びつく「道路整備や除排雪」、「医療や介護サービスの供給体制」と続いています。

また、「中心市街地の活性化」や「老朽化している公共施設の整備」の回答も多く、市民が関心を持っている市政に対する課題への認識を深めることができました。

◎その他

主な意見

- ◇大学生が卒業後に定住できる環境づくり。
- ◇空き家対策。
- ◇コロナ禍の中、今後の生活や地方のあり方について。

【自由記述の概要】

市議会へのご意見、ご要望を 230 件お寄せいただきました。議会や議員に対するご意見が 116 件、行政に対するご意見・ご要望が 100 件、その他 14 件となっています。

特に、議会や議員の活動に対する苦言が多く、「議員は、市民の意見を拾い上げ、市政に反映すべき」、「議員の活動が見えない」、「議会が身近に感じない」、「市民とのふれあいに欠ける。地域の行事やイベントに参加すべき。」、「議員の先進地視察が行政に生かされているのか」、「市民の声を吸い上げる場所や機会を作ってほしい」、「議員は、質問をしっぱなしではなく、もっと掘り下げた議論で解決を」、「今、名寄市で何が起きているのか。議員の情報発信が不足している。」などの厳しい意見がありました。

一方で、「市民のために頑張ってください」、「名寄市を盛り上げてほしい」、「議会の活動（議会改革など）に大いに期待する」などの議会や議員に対する励ましもありました。

また、除排雪、道路整備、子育て、医療など、市民の利便性や市民の安全安心に関わるご意見・ご要望が多くあったほか、町内会、スポーツ振興、観光などについても挙げられており、多岐にわたりご意見・ご要望をいただきました。議員各々には、市民の意見を幅広く拾い上げて、市政に反映するべく議員活動を行うとともに、改善できたこと、課題として残ったことなどについて整理をし、市民に伝えていくことが求められていました。

皆さまからいただいた行政課題や問題点については、項目別に整理した上で、所管する委員会でも内容を検証し、市政および議会活動に反映できるよう活用してまいります。

【調査のまとめ】

今回のアンケート調査では、初めてオンラインによる回答方法を取り入れたことなどにより、郵送による回答も含めて全体で 800 人（40%）から回答をいただき、前回調査の 616 人（30.8%）を大きく上回りました。

名寄市の様々な意思決定に係る審議については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると全体の 76.13%と、若い世代の方を含めて多くの方が、市議会に関心を持っていたことがわかりました。

一方で、「どちらかと言えば関心がない」、「関心がない」の理由では、市議会の情報や日頃の議員活動が伝わっていないとの意見が多くありました。

議員や議会への意見や要望などについては、多くの方が伝えたことが「ない」と回答しており、議員各々が日常の活動において、市民との対話が不足していると認識しました。

市議会の議員定数については、現在の定数が「多い」という意見が「適当」という意見を上回りました。「多い」の理由では、将来の人口減少、他市との比較、議員活動が見えないとの意見が多くありました。

また、市民との情報交換の場を多く作ってほしいなどのご意見に加えて、「議会だより」の内容についてもご意見をいただきました。

市民の皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止めるとともに、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にありますが、引き続きよりわかりやすい議会情報の提供やその手段の工夫を検討してまいります。

【おわりに】 議会運営委員会 委員長 塩田 昌彦

このたびのアンケート調査で、市民の皆さまが議会や議員の活動を「どのように受け止め、何を求めているのか」を改めて認識させていただくことができました。

今後は、アンケートによりいただいたご意見などの分析と検証を行い、活発な議論を重ね“市民に信頼される議会を目指して”議会改革を進めてまいります。

最後に、本アンケート調査に貴重なご意見をお寄せいただくなど、ご理解とご協力をいただきましたことに対し厚くお礼を申し上げます。